



六 桜 花



令和3年度 第7号

初島小学校 学校通信
令和3年 7月 9日
文責 植村 由香

成長するということ

小学生にとって「心の成長」とは、

【低学年】・・・1人で行動できる。自分の考えがもてる。

- 明日の時間割を自分でそろえたり、学校から1人で帰ってきたりすること
- 1人で考えて行動することが増えること
- 学校での出来事を話す際、自分なりの考えを言えること・・・など

七夕集会 (1・2年)



【中学年～高学年】・・・様々なことに思考が働く。周囲がよく見えてくる。

- 自分の意見を組み立てて言うようになること
- 言われる前に行動できるようになること
- 他人に心配りができること・・・など



パソコンクラブ (4・5・6年)



交通安全教室 (3・4年)

(他にもたくさんありますし、もちろん個人差はあります)

このように、子どもたちは日々たくさんのお話を吸収し、めまぐるしく成長しています。そして時には、人と比べて「なぜ、できないのだろう。」と悩んだり、できる友達を疎ましく思ったりもします。

また、何をしても必ずどこかで壁にぶち当たるものです。そこでよく言われるのが「失敗は成功の元」です。そのときに、「原因はどこにあるのか」と疑問をもち何度も挑戦することが、成長につながります。反省は基本的に嫌な作業で、思い出たくないことと向き合わなければならないかもしれません。しかし、反省があるから次の機会への想像が生まれ、実践につながっていく。好循環は反省から生まれるものなのだと思います。

やはり、今できることに満足しているだけでは多くの成長はありません。初小の子どもたちには、1つ上のことに思考をもって何度も挑戦するたくましさ、今よりさらに持ってほしいと考えます。私たち大人は、挑戦する姿に精一杯のエールを送り、頑張ったときや出来たときは思い切り褒めることが何より大切であるとも思います。

キッズ・サポート・スクール

県警察本部少年課よりサポーターの方々に来校して頂き「キッズ・サポート・スクール」を開きました。2年生は「ルールやきまり、人の嫌がる事をしない」について、5年生は主に「いじめ」についての授業を受けました。感想を紹介します。

【2年生】

- ・警察の人が言ってくれたからルールや決まりを守れると思います。『心のブレーキ』をこれからも心にとめて生活をしていこうと思います。
- ・うそはぜったいばれるから、ぜったいうそは言いたくない。わるいことをしてしまいそうになったら、“心のブレーキ”をふまなければならない。

【5年生】

- ・1つの言葉に責任をもつ。これからは言う言葉を相手がどんな気持ちになるか考えて言う。
- ・イヤなことがあったら、自分だけでなやまないで相談しようと思った。
- ・いじめられているのを見たら、すぐに止める。見て見ぬふりをしたくない。

【保護者】

- ・その場その場に自分を守ってくれる人がいると分かったようで、「『助けて』って言えばいいんやで」と話していました。小学生になり、行動範囲が広がり、目が行き届かなくなってきましたが、交通ルールや自分を守る方法をしっかりと身につけてほしいと思います。
- ・人の嫌なことを言わない、しないことを常に話しています。
- ・どんなことでも、いつでも相談にのってあげられる親でいたいと思いました。



「はつ小 大すきプロジェクト」



児童会役員が、“もっと初小のことをみんなに好きになってほしい”という願いを込めて「はつ小 大すきプロジェクト」に取り組んでいます。「はつ小をどうおもっていますか」のアンケートをタブレットでとり、児童会で話し合い、もっと「大好き」を増やすために「ほめほめ週間」という企画を考えました。1日5人以上の人と、お互いにほめ合うというものです。教員も参加します。結果が楽しみです。

【アンケート結果】

だいすき	58%
すき	19%
ふつう	24%
すきじゃない	0%

日出手袋工業様を見学

3年生が社会科で日出手袋工業様を見学させて頂きました。手袋を作る工程の見学や、事前に準備しておいた質問に答えていただいたりしたお陰で、大変有意義な学習となりました。

社長様の説明の中で、お客様のために出来ることを常に考えること、つながりを大切にすること、安心して使ってもらえるよう機械だけでなく人の目でもしっかりチェックすることが大切だということがよく分かりました。ありがとうございました。

